

# 上級SⅡ 特別編

解表・止咳平喘・瀉下・安神・祛風湿・熄風

## 目次

解表剤	-----	1
桂枝湯 麻黄湯 葛根湯 銀翹散		
止咳平喘剤	-----	3
麻杏甘石湯 五虎湯 小青龍湯		
瀉下剤	-----	5
大承気湯 調胃承気湯 麻子仁丸 潤腸湯		
安神剤	-----	7
甘麦大棗湯 天王補心丹 酸棗仁湯 柴胡加竜骨牡蠣湯		
祛風湿剤	-----	9
防己黄耆湯 薏苡仁湯 桂枝加朮附湯 疎経活血湯 独活寄生湯		
熄風剤	-----	12
七物降下湯 抑肝散 抑肝散加陳皮半夏 釣藤散		



## 解表剤 (方剤)

### 解表剤とは

表証を治療する方剤。表に襲来した外邪（風邪、寒邪、熱邪など）をとりのぞく。

#### けいしとう 桂枝湯

##### 適度に発汗させる辛温解表剤

発汗する必要はあるが、虚であるため強力な発汗解表は避け、営衛を保護しつつ、穏やかに発汗させて邪気を取り除く。生姜と大棗の組み合わせは営衛を調和させる。

組成：桂枝 芍薬 生姜 大棗 甘草

効能：解肌發表 調和営衛 主治：風寒表虚証

症状の目安：悪風（温めれば取れる程度の寒け）、有汗（自然発汗・微かに汗ばむ程度）  
発熱（微熱）、頭痛、鼻水（サラサラ）、咳、痰（サラサラ）など



#### けいし 桂枝

温性・辛甘 帰経：肺 心 膀胱

1 疏散風寒 2 散寒 3 温経 4 温中

#### まおうとう 麻黄湯

##### 辛温解表剤。ゾクゾク無汗の表寒実証に

風寒実証特有の強い悪寒と弱い発熱（微熱程度）が目標となる。そして咳、喘息の症状や関節の痛みもみられる場合は麻黄湯が適応対象と言える。

組成：麻黄 桂枝 杏仁 甘草

効能：発汗解表 宣肺平喘 主治：風寒表実証

症状の目安：強い悪寒、無汗、発熱（微熱）、咳、喘息、鼻水（サラサラ）、痰（サラサラ）  
体の節々が痛む（四肢、関節、腰など）など



#### まおう 麻黄

温性・辛微苦 帰経：肺 膀胱

1 疏散風寒 2 宣肺 3 平喘

かつこんとう

## 葛根湯

辛温解表剤。強い悪寒と筋肉のこわばりに

葛根湯は麻黄湯の適応症より悪寒・無汗がやや軽い人向き。風寒表実証かつ津液の消耗があり、首筋や背中の筋肉が強ばった状態に適応する。

組成：葛根 麻黄 桂枝 芍薬 生姜 大棗 甘草

効能：解肌発汗 舒筋 主治：風寒表実証 項背拘急

症状の目安：胃い悪寒、無汗、発熱(軽い)、頸部や背部の筋肉がこわばる(痛い)

頭痛、咳、痰(サラサラ)、鼻水(サラサラ)、嘔吐、胃痛、下痢など



かつこん

### 葛根

涼性・甘辛 帰経：脾胃

1 疏散風熱 2 昇堤 3 生津 4 解肌

ぎんぎょうさん

## 銀翹散

辛涼解表剤。風熱を散らして炎症をしずめる

寒邪と熱邪が結びついた邪気が体表を犯し、発熱と炎症を引き起こした状況に適応する。特に喉の痛みと色がついた鼻水や痰がみられる場合が目安となる。

組成：連翹 金銀花 薄荷 桔梗 淡竹葉 甘草 荊芥 淡豆鼓 牛蒡子 芦根

効能：辛涼解表 清熱解毒 主治：風熱実証(風熱犯衛)

症状の目安：強い発熱、顔が赤い、悪寒(軽い)、喉が赤い、喉が痛い、咳、痰(粘りあり、色あり)、鼻水(粘りあり、黄色っぽい)など



きんぎんか

### 金銀花

寒性・甘 帰経：肺 胃 大腸

1 清熱 2 疏散風熱

## 止咳平喘剤 (方剤)

### 止咳平喘剤とは

咳や喘息を止める方剤。

まきようかんせきとう

### 麻杏甘石湯

風熱を散らし、肺熱による咳を鎮める

外邪の風邪が肺を襲い、肺に熱がこもり、肺気が肅降できずに上逆して、咳、喘息、呼吸困難などが起こっている時に使う。

組成：麻黄 石膏 杏仁 甘草

効能：辛涼宣泄 清肺平喘 主治：外感風邪 肺熱咳喘

症状の目安：肺熱による咳、喘息、呼吸困難、肺熱による喉の痛み（肺が熱で乾燥して痰は少なめ）、口渇、有汗（あるいは無汗）など



きょうにん

### 杏仁

微温・苦 帰経：肺 大腸

1 止咳平喘 2 潤腸通便

ごこうとう

### 五虎湯

麻杏甘石湯に桑白皮をプラス

麻杏甘石湯に桑白皮が加わることで肺熱を冷まし痰飲を取り除く働きが強化されている。

麻杏甘石湯より痰が多く出る「肺湿熱」タイプに向く。

組成：麻黄 石膏 杏仁 甘草 桑白皮

効能：清肺泄熱 止咳平喘 主治：肺熱喘咳 ※肺湿熱傾向

症状の目安：肺熱による咳、喘息、呼吸困難、肺熱による喉の痛み、口渇、痰が多くからみやすいなど



そうはくひ

### 桑白皮

寒性・甘 帰経：肺

1 瀉肺平喘 2 利尿消腫

しょうせいりゅうとう

## 小青龍湯

### 水飲の上逆による咳、鼻水などに

風寒邪が表を犯して肺が冷え、水飲が上逆した状況に使う。もともと痰飲が溜まっている人が風寒邪を受けて肺の機能が阻害され、体内の有り余る痰飲が騒ぎだして鼻水や痰となり、溢れだした状態とも言える。

組成：麻黄 桂枝 半夏 乾姜 細辛 五味子 芍薬 甘草

効能：解表散寒 温肺降逆

主治：風寒束表 水飲内停 痰飲の喘咳

症状の目安：悪寒、発熱、無汗、咳、喘鳴、呼吸困難、痰・鼻水(透明・サラサラ)など



はんげ

### 半夏

温性・辛 帰経：脾胃肺

1 燥湿化痰 2 降逆止嘔 3 消痞散結

## 瀉下剤 (方剤)

### 瀉下剤とは

排便しやすくして、便が硬くなってしまったために起こる便秘に用いる薬。

だいじょうきとう

### 大承気湯

胃腸の熱を瀉し、強制的に便を出す

燥熱の邪が胃腸（陽明）の積滯と結びついて便（乾燥）を形成して気機を阻滞し、便秘となった状況に適応する。刺激が強いので要注意。

組成：大黃 芒硝 枳実 厚朴

効能：峻下熱結 主治：熱結腸胃

症状の目安：便秘（乾燥性）、腹満、腹痛、尿の色が濃い、口渇、汗、舌紅・舌苔黄など



だいおう

### 大黃

寒性・苦 帰経：脾 胃 大腸 肝 心

1 瀉火攻積 2 清熱瀉火 3 涼血解毒 4 活血祛瘀

ちょういじょうきとう

### 調胃承気湯

大承気湯より瀉下の力は緩やか

大承気湯から行気の枳実と厚朴を抜き、補気中の炙甘草を加えたもの。大承気湯より軽症の便秘に使うイメージ。

組成：大黃 芒硝 炙甘草

効能：緩下実熱 主治：熱結腸胃

症状の目安：便秘（乾燥性）、腹満、腹痛、尿の色が濃い、口渇、汗、舌紅・舌苔黄など



ぼうしょう

### 芒硝

寒性・苦鹹 帰経：胃 大腸

1 瀉下 2 軟堅 3 清熱

ましにんがん

## 麻子仁丸

### 脾陰不足による乾燥性の便秘に

胃に燥熱（気滞による鬱熱など）があり、脾は津液不足という「胃強脾弱」の状況で腸が乾燥して習慣性の便秘となっている状況に向く。産後、高齢者に多い。

組成：麻子仁 杏仁 白芍 枳実 大黄 厚朴

効能：潤腸通便 泄熱行気 主治：腸胃燥熱 脾約便秘

症状の目安：便秘(固いコロコロ便)、唇の乾燥、頻尿、舌紅・舌苔黄(乾燥)など



ましにん

### 麻子仁

平性・甘 帰経：脾 胃 大腸

潤腸通便

じゅんちょうとう

## 潤腸湯

### 陰血不足による乾燥性の便秘に

血と津液が不足して乾燥性の便秘となった状況で使う。当帰と熟地黄で補血補陰、麻子仁と杏仁と大黄で通便をはかる。

組成：当帰 熟地黄 桃仁 麻子仁 杏仁 枳殻(枳実) 厚朴 黄芩 甘草 大黄

効能：滋陰補血 潤腸通便 泄熱行気

主治：陰血不足 腸燥便秘

症状の目安：便秘(固いコロコロ便)、皮膚や髪や爪などにツヤと潤いが無い、皮膚や髪や爪が乾燥する、ほてり、舌紅・舌苔少(乾燥)など



とうき

### 当帰

温性・甘辛 帰経：心 肝 脾

1 補血 2 活血 3 潤腸通便

## 安神剤 (方剤)

### 安神剤とは

精神安定、鎮静を目的とする方剤。主に重鎮安神と養心安神に分かれる。

かんぱくたいそうとう

### 甘麦大棗湯

#### 心陰虚による神経の興奮を鎮める

憂思過度により五臓の陰が不足した結果、心陰が不足して肝気が失調して精神が不安定になった状況などに向く方剤。

組成：甘草 小麦 大棗

効能：養心安神 和中緩急 主治：臑躁

症状の目安：頭がぼーっとする、煩躁（焦燥感、落ち着かない）、不安感、驚きやすい、寝つきが悪い、多夢、眠りが浅い、不眠、あくびが頻発、筋肉のひきつり、痙攣、舌苔少など



しょうばく

#### 小麦

微寒・甘 帰経：心 肝

養心安神

てんのうほしんたん

### 天王補心丹

#### 心腎陰虚による不眠などに

慢性的に陰血を消耗し、心腎陰虚で内熱が生じて「心腎不交」となり、心神が滋養されないため不眠や動悸、健忘が起こっている状況に適応する。基本的に腎陰を増やして熱をしずめる方剤。

組成：生地黄 人参 丹参 玄参 茯苓 五味子 遠志 桔梗 当归 天門冬 麦門冬 柏子仁 酸棗仁

効能：滋陰養血 補心安神 主治：心腎陰虚

症状の目安：寝つきが悪い、多夢、眠りが浅い、目が覚める、不眠、煩躁（焦燥感、落ち着かない）、不安感、動悸、煩熱、口内炎、便秘など



おんじ

#### 遠志

微温・苦辛 帰経：心 腎 肺

1 寧心安神 2 祛痰開竅 3 散消癰腫

さんそうにんとう

## 酸棗仁湯

### 肝血虚による虚煩不眠に

心労や思い悩み、過労などで心血と肝血が不足し、虚熱が生じて熱が心神を上擾した状況で使うべき方剤。不眠や動悸の症状があらわれるが、基本的に虚（衰弱）が原因の不眠。

組成：酸棗仁 甘草 知母 茯苓 川芎

効能：養血安神 清熱除煩 主治：肝血虚 虚火上擾

症状の目安：不眠、多夢、よく目がさめる、心煩、焦燥感、胸がざわざわする、イライラ 動悸 頭がふらつく めまい、ほてり、のぼせ、口やのどが乾燥する、盗汗など



さんそうにん

### 酸棗仁

平性・甘酸 帰経：心 肝

1 養心安神 2 益肝斂汗

さいこかりゅうこつぼれいとう

## 柴胡加竜骨牡蛎湯

竜骨と牡蠣で重鎮安神を図る。和解剤のひとつ。

精神的ストレス、緊張などによって肝鬱化火となり脾を傷つけて痰が生じる。それによって気の流れが阻滞され、肝火が心を上擾して動悸、不眠などが現れた状況に向く。

組成：柴胡 竜骨 牡蠣 茯苓 黄芩 桂枝 半夏 生姜 人参 大棗 大黄

効能：疏肝解鬱 清熱安神 補気健脾 化痰止嘔

主治：肝鬱気滞 心肝火旺 脾気虚 痰湿

症状の目安：不眠、驚きやすい、情緒不安、神経過敏、うわごと、動悸、めまい、腹や胸が脹る、膨満感、吐き気、尿量が少ない、黄膩苔など



りゅうこつ

### 竜骨

微寒・甘渋 帰経：心 肝

1 平肝潜陽 2 鎮静安神 3 収斂固渋

## 祛風湿剤 (方剤)

### 祛風湿剤とは

主に風湿の邪を発散させたり動かして取り除き、関節痛などを治す方剤。痺証の治療に使われる。※痺証とは筋・骨格系の痛みの総称。筋肉や関節に痛みやしびれ、運動障害を起こす病状を指す。

ぼういおうぎとう  
**防己黄耆湯**

### 気虚によるむくみ、風水・風湿に

脾肺気虚のため衛気不足と水湿停滞があり、そこに風邪が侵入し、体内で停滞している湿と結びついて（風湿）、経絡を阻滞する。結果、痺証が生じる。

※防己黄耆湯はすでに「祛湿剤」で紹介済みです。詳細は祛湿剤の頁をご参照ください。

よくいにんとう  
**薏苡仁湯**

### むくみやすい風湿痺に

ハトムギが主成分。むくみを伴う風湿痺に適応する。薏苡仁と蒼朮で燥湿除痺。麻黄と桂皮で散寒温通(辛温行水)している。

組成： 薏苡仁 蒼朮 桂皮 麻黄 当帰 芍薬 甘草

効能： 祛風湿 主治： 風湿痺

症状の目安： ・関節や筋肉の痛み、しびれ、むくみ、冷えなど



よくいにん  
**薏苡仁**

微寒・甘淡 帰経： 脾 胃 肺

1 利水滲湿 2 健脾 3 除痺 4 清熱排膿

けいしかじゅつぶとう

## 桂枝加朮附湯

### 桂枝湯の加方。風寒湿に

桂枝湯に附子と蒼朮を加えたもの。胃に燥熱（気滞による鬱熱など）があり、脾は津液不足という「胃強脾弱」の状況で腸が乾燥し、習慣性の便秘となっている状況に向く。

組成：桂皮 白芍 甘草、生姜 大棗 附子 蒼朮

効能：調和營衛 散寒祛湿 主治：風寒湿

症状の目安：関節や筋肉の疼痛、冷え、むくみ、しびれなど



そうじゅつ

### 蒼朮

温性・辛苦 帰経：脾 胃

1 祛風除湿 2 燥湿健脾 3 発汗解表

そけいかっけつとう

## 疎経活血湯

### 血虚を伴う風湿痺に

血虚があると外邪が侵入しやすく、風湿邪を受けた場合は痺証となりやすい。当帰と白芍と生地黄は血虚改善のため配合されており、この方剤はあくまで血虚を伴う風湿痺が対象と言える。

組成：当帰 白芍 生地黄 蒼朮 牛膝 陳皮 桃仁 川芎 威靈仙 防己 羌活 防風 白芷

効能：祛風湿 補血活血 主治：肝風湿痺 血虚

症状の目安：関節や筋肉の痛み、しびれ、むくみ、冷え、血虚の各種症状（めまい、立ちくらみ、白っぽい、肌につやがない、筋肉がひきつる、目がかすむ、爪がもろいなど）



いれいせん

### 威靈仙

温性・辛鹹 帰経：膀胱

1 祛風湿 2 通経絡 3 止痺痛

どっかつせいとう

## 独活寄生湯

### 肝腎不足、気血両虚を伴う風寒湿痺に

肝腎不足、気血両虚がベースにある虚弱者が、風寒湿邪を受けて痺証が見られる時や、風寒湿痺が長期化して痺証が慢性化している状況などに適応する。

組成：独活 桑寄生 杜仲 牛膝 細辛 秦艽 茯苓 肉桂 防風 川芎 人参 甘草  
当归 白芍 生地黄

効能：祛風湿 止痺痛 補肝腎 補気補血

主治：風寒湿痺 肝腎不足 気血両虚

症状の目安：関節や筋肉の疼痛、動かしにくい、運動障害(膝や腰に出やすい)、四肢がしびれる、むくみ、肝腎不足と気血両虚の各種症状(疲労倦怠感、脱力感、足の冷え、動悸、息切れ、ふらつき、耳鳴りなど)



どっかつ

### 独活

温性・辛苦 帰経：肝 腎 膀胱

1 祛風勝湿 2 止痛

## 熄風劑 (方劑)

### 熄風劑

「内風」を鎮める方劑。平肝内風劑とも呼ばれる。

しちもつこうかとう

### 七物降下湯

#### 血虚生風を鎮める

肝血が不足すると、肝陽を制御できなくなり肝陽上亢が起こりやすい。また肝血が不足するため筋を養えず内風が起こりやすくなる。このような状況に向く方劑。

組成：釣藤鈎 当帰 川芎 白芍 熟地黄 黄耆 黄柏

効能：滋陰養血 熄風 主治：血虚生風

症状の目安：頭のふらつき、めまい、手足のふるえ、筋肉のひきつり、顔色が白っぽい、肌や髪にツヤがない、髪が抜ける、爪がもろい、しびれ、月経周期が長い、経血が少ないなど



ちょうとうこう

### 釣藤鈎

微寒・甘 帰経：肝 心包

1 平肝熄風 2 清熱

よっかんさん

### 抑肝散

#### 気血両虚による肝風を鎮める

抑肝散はもともとは子供の夜泣きの薬。夜泣きは母親の影響が大きいことから、母と子両方に抑肝散を飲ませる治療法がとられていた。現代は気血両虚で肝鬱、肝風に対応する方劑として使われている。

組成：釣藤鈎 柴胡 当帰 川芎 白朮 茯苓 甘草

効能：平肝熄風 気血双補

主治：肝風 肝鬱(肝鬱化風) 気血両虚

症状の目安：頭のふらつき、めまい、頭痛、手足のふるえ、歯ぎしり、筋肉の痙攣、不眠 イライラ、元気がない、疲れやすい、顔色が悪い、食欲不振、肌にツヤがない、動悸など

よっかんさんかちんぴはんげ

## [加方] 抑肝散加陳皮半夏

### 抑肝散に陳皮と半夏を加えたもの

陳皮と半夏を加えて燥湿化痰、降逆和胃の薬効が加わった薬。腹部膨満感、吐き気、嘔吐など痰湿の存在が顕著である場合や肝胃不和の状況にある場合はこちらの方剤が適している。



ちんぴ

### 陳皮

温 辛苦 帰経：脾 肺

1 理気 2 健脾 3 化痰

ちょうとうさん

## 釣藤散

### 肝陰不足による肝風と肝火を鎮め、痰飲を除去

肝陽化風の治療方剤。肝の陰液が不足して肝陽上亢が進むと揺れ動くような状態（肝風）となり、特に体の上部に様々な症状が現れやすくなる。また肝気の亢進は脾に悪影響を及ぼして脾の運化失調を招き痰湿が生じる。この痰湿が肝風と結びついて上昇すると、めまいなどの症状があらわれる。釣藤散はこのような状況に適応する。

組成：釣藤鈎 防風 陳皮 菊花 石膏 半夏 麦門冬 茯苓 生姜 人参 甘草

効能：平肝熄風 清熱化痰 補気健脾

主治：肝陽化風 風痰上擾 脾気虚

症状の目安：頭のふらつき、めまい（回転性）、まっすぐ歩けない、頭痛、手足のふるえ、舌がふるえる、口の渇き、のぼせ、顔面紅潮、目の充血、不眠、寝汗、イライラ、心煩、耳鳴り、肩こり、食欲不振 腹部膨満感 吐き気など



ぼうふう

### 防風

微温・辛甘 帰経：膀胱 肝 脾

1 祛風解表 2 勝湿止痛 3 祛風止癢